

1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6

Jp 使用説明書

En Users Manual

Fr Manuel d'utilisation

Es Manual del usuario

Pb Manual do usuário

Ch 使用說明書

Kr 使用说明书

Kr 사용설명서

Id Manual bagi Pengguna

Ar دليل المستخدم

	Printed in China
	S82J01(A4)
	NIKON CORPORATION
	7MVA11A4-07 ▲ G12

このページは、**ニコン**の**1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6**に関する記事です。

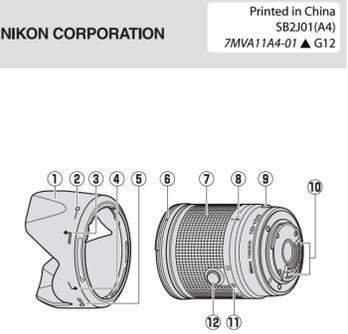


図1/Figure 1/Imagen 1/Figura 1/圖1

カメラへの取り付け方・取り外し方については、カメラの説明書をご覧ください。
レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないようにご注意ください。

沈黙機構
レンズを使用しないとき、鏡筒長を短くできます。
・レンズを使用するときは、ズームリングボタンを押さないで（図2・1）矢印の方向に回します（図2・2）。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。

・レンズを取納するときは、ズームリングボタンを押しながら、解除時と逆方向に戻します。レンズの機構に取納され、ズームリングがロックされます。

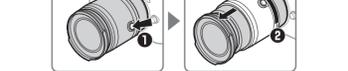


図2/Figure 2/Imagen 2/Figura 2/圖2

ズームリング
ズームを行うには、ズームリングを回転させます。
ズーム距離範囲が10-100の範囲内でどの画像サイズでも（図3）。

フード（別売）の使い方
画像に影響を及ぼす光線をカットし、レンズの保護にも役立ちます。

■取り付け方（使用時）
図4のように取り付けてください。フード着脱指指（○）とフードセット指指（○）が合っていることを確認してください（図4・4）。

・フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指指（▽）付近を持って回転させてください。

・フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。

■取り付け方（取納時）
・取納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます（図5）。

フラッシュ使用時のご注意
フラッシュ撮影をする場合、使用する焦点距離や撮影距離によっては、ケラレを生じることがあります。

・フラッシュのケラレは、フラッシュの光がレンズの先端やフードでさえざられて影になり、写真に映り込む現象です。

その他の設定
次の設定は、カメラ側で行ってください。

・絞りモード
・マニュアル撮影（NORMAL/ACTIVE/OFF）
NORMALモードとACTIVEモードの2種類の手ブレ補正に対応しています。

レンズのお手入れと取り扱い上のご注意
レンズ（別売）をレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。

・CPU 専用拭き布は必ずよくご湿らせてください。

・レンズの清掃は、ホコリなどを付着にしてください。指垢などのときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または専用のレンズクリーナーを少量塗らせ、レンズの中心から外縁へ巻く状に、拭きつま、拭き残りのないようによく注意して拭いてください。

・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

・レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NC フィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。

・レンズケースなどを入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。

・レンズを長時間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿の場所を避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟腦のあるところも避けてください。

・レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。

・スレーブの清掃は、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

付属アクセサリー
・55mm スーパーソフトレンズキャップ LC-N55
・裏ぶた LF-N1000

使用できるアクセサリー
・マクロネットフード HB-N106
・55mm ネオ辺込式フィルター
・メモリアンタース CL-N101

仕様
・画素：1 マクロンモード
・最高解像度：10 mm～100 mm
・最大口径比：1 : 4.5

・レンズ構成：12 群 19 枚
（非球面レンズ3枚、ED レンズ2枚、高屈折率レンズ使用）

・画角：77°～9°10′
・電子制御ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式

撮影機能
・焦点距離 10 mm 時：撮像面から 0.35 m

・焦点距離 60 mm 時：撮像面から 1.0 m

・焦点距離 100 mm 時：撮像面から 0.65 m

・絞の羽枚枚数：7枚（円形絞り）
・絞の方式：自動絞り

・絞の範囲
・焦点距離 10 mm 時：f/4–16

・焦点距離 100 mm 時：f/5.6–16

・アタッチメントサイズ：55 mm（P=0.75 mm）

・寸法：約 60.5 mm（最大径）× 70.5 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈黙時）

・質量：約 298 g
仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

このページは、**ニコン**の**1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6**に関する記事です。

	▲ 警告
	分解したり、修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部分に触れないこと 感電したり、破損でケガをする原因となります。
	カメラの電池を抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理依頼をしてください。
	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラの電源を切ります そのまま使用するると火災、やけどの原因となります。
	電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、販売店またはニコンサービスセンターに修理依頼をお願いします。
	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないでください。発火したり感電の原因となります。
	炎、湯気おそれのある場所では使用しないでください。 「Feuchtigkeit」が示しているような湿度の発生する場所でも使用すると、爆発や火災の原因となります。
	レンズまたはカメラで太陽や強い光を見ないこと 失明や視力障害の原因となります。

	▲ 注意
	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
	製品は、幼児の手の届くところに置かない ケガの原因になることがあります。
	逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと 太陽光がカメラ内部で集束を起し、火災の原因になることがあります。 画角から太陽をむきかへ外しても火災の原因になることがあります。
	使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない場所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
	三脚にカメラやレンズを取り付けたまま動かしな 転倒したりぶついたりしてケガの原因になることがあります。
	窓を締め切った自動車の窓や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。

各部の名称（図 1）

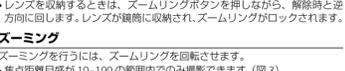
- | | |
|------------------|-------------|
| ① フード | ⑩ ズームリング |
| ② フードセット指指 | ⑪ 焦点距離目盛指指 |
| ③ フード取り付け指指（取納時） | ⑫ レンズ着脱指指 |
| ④ フード取り付け指指 | ⑬ CPU 信号接点 |
| ⑤ フードセット指指（取納時） | ⑭ 焦点距離目盛 |
| ⑥ フード着脱指指 | ⑮ ズームリングボタン |

カメラへの取り付け方・取り外し方

カメラへの取り付け方・取り外し方については、カメラの説明書をご覧ください。
レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないようにご注意ください。

沈黙機構
レンズを使用しないとき、鏡筒長を短くできます。
・レンズを使用するときは、ズームリングボタンを押さないで（図2・1）矢印の方向に回します（図2・2）。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。

・レンズを取納するときは、ズームリングボタンを押しながら、解除時と逆方向に戻します。レンズの機構に取納され、ズームリングがロックされます。



ズームリング
ズームを行うには、ズームリングを回転させます。
ズーム距離範囲が10-100の範囲内でどの画像サイズでも（図3）。

フード（別売）の使い方
画像に影響を及ぼす光線をカットし、レンズの保護にも役立ちます。

■取り付け方（使用時）
図4のように取り付けてください。フード着脱指指（○）とフードセット指指（○）が合っていることを確認してください（図4・4）。

・フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指指（▽）付近を持って回転させてください。

・フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。

■取り付け方（取納時）
・取納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます（図5）。

フラッシュ使用時のご注意
フラッシュ撮影をする場合、使用する焦点距離や撮影距離によっては、ケラレを生じることがあります。

・フラッシュのケラレは、フラッシュの光がレンズの先端やフードでさえざられて影になり、写真に映り込む現象です。

その他の設定
次の設定は、カメラ側で行ってください。

・絞りモード
・マニュアル撮影（NORMAL/ACTIVE/OFF）
NORMALモードとACTIVEモードの2種類の手ブレ補正に対応しています。

レンズのお手入れと取り扱い上のご注意
レンズ（別売）をレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。

・CPU 専用拭き布は必ずよくご湿らせてください。

・レンズの清掃は、ホコリなどを付着にしてください。指垢などのときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または専用のレンズクリーナーを少量塗らせ、レンズの中心から外縁へ巻く状に、拭きつま、拭き残りのないようによく注意して拭いてください。

・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

・レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NC フィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。

・レンズケースなどを入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。

・レンズを長時間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿の場所を避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟腦のあるところも避けてください。

・レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。

・スレーブの清掃は、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

付属アクセサリー
・55mm スーパーソフトレンズキャップ LC-N55
・裏ぶた LF-N1000

使用できるアクセサリー
・マクロネットフード HB-N106
・55mm ネオ辺込式フィルター
・メモリアンタース CL-N101

仕様
・画素：1 マクロンモード
・最高解像度：10 mm～100 mm
・最大口径比：1 : 4.5

・レンズ構成：12 群 19 枚
（非球面レンズ3枚、ED レンズ2枚、高屈折率レンズ使用）

・画角：77°～9°10′
・電子制御ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式

撮影機能
・焦点距離 10 mm 時：撮像面から 0.35 m

・焦点距離 60 mm 時：撮像面から 1.0 m

・焦点距離 100 mm 時：撮像面から 0.65 m

・絞の羽枚枚数：7枚（円形絞り）
・絞の方式：自動絞り

・絞の範囲
・焦点距離 10 mm 時：f/4–16

・焦点距離 100 mm 時：f/5.6–16

・アタッチメントサイズ：55 mm（P=0.75 mm）

・寸法：約 60.5 mm（最大径）× 70.5 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈黙時）

・質量：約 298 g
仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

English
Thank you for your purchase of a 1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6 lens. Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.

Note: 1 NIKKOR lenses are exclusively for Nikon 1 interchangeable lens format digital cameras. The angle of view is equivalent to a 35 mm format lens with a focal length about 2.7 x longer.

For Your Safety
▲ CAUTIONS

・**Do not disassemble.** Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. In the event of malfunction, the product should be repaired only by a qualified technician. Should the product break open as the result of a fall or other accident, remove the camera battery and/or disconnect the AC adapter and then take the product to a Nikon-authorized service center for inspection.

・**Turn the camera off immediately in the event of malfunction.** Should you notice smoke or an unusual smell coming from the equipment, immediately unplug the AC adapter and remove the camera battery, taking care to avoid burns. Continued operation could result in fire or injury. After removing the battery, take the equipment to a Nikon authorized service center for inspection.

・**Do not use in the presence of flammable gas.** Operating electronic equipment in the presence of flammable gas could result in explosion or fire.

・**Do not look at the sun through the lens or the camera viewfinder.** Viewing the sun or other bright light source through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

・**Keep out of reach of children.** Failure to observe this precaution could result in injury.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not look at the sun through the lens or the camera viewfinder.** Viewing the sun or other bright light source through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

・**Keep out of reach of children.** Failure to observe this precaution could result in injury.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

- Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.

- If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.

・**Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.** Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

・**Observe the following precautions when handling the lens and camera:**
- Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

- Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.

Autres réglages
Utilisez l'appareil photo pour :
・ Régler l'ouverture.
・ Contrôler la mise au point

・ Réduction de vibration (MODE NORMAL/MODE ACTIF/DESACTIVÉE)
Cet objectif prend en charge la réduction de vibration à la fois en mode Normal et en mode Actif

Entretien de l'objectif
・ Si vous utilisez un parasoleil optionnel, ne prenez pas ou ne tenez pas l'objectif ou l'appareil photo en saisissant uniquement le parasoleil.
・ Maintenez les contacts du microprocesseur propres.

・ Utilisez une soufflette pour enlever la poussière et les peluches sur la surface de l'objectif. Pour effacer les taches et les traces de doigt, imprégnez un morceau de tissu propre en coton avec une petite quantité d'éthanol ou de nettoyage pour objectif ou utilisez une lingette de nettoyage dobjectif, et nettoyez avec un mouvement circulaire à partir du centre vers l'extérieur, tout en prenant soin de ne pas laisser de taches, ni de toucher le verre avec vos doigts.

・ N'utilisez jamais de solvants organiques comme un diluant à peinture ou du benzène pour nettoyer l'objectif.

・ Le parasoleil ou les filtres NC peuvent être utilisés pour protéger la lentille frontale.

・ Fixez les bouchons avant et arrière si vous n'utilisez pas l'objectif.

1 NIKKOR VR 10-100mm f/4-5.6

Ck 使用说明书

Kr 사용설명서

Id Manual bagi Pengguna

Ar دليل المستخدم

jp 使用説明書

En User's Manual

Fr Manuel d'utilisation

Es Manual del usuario

Pb Manual do usuário

Ch 使用說明書